



災害時の情報収集・伝達で まちの役に立ちたい

街人探訪
vol.80

アマチュア無線を防災に生かす

杉江 久男さん

すぎえひさお ● 生駒市アマチュア無線局非常通信協力会 (I.A.E) 会長。アマチュア無線従事者の1%以下しか持っていない第1級の資格を持つ。66歳。北田原町在住。

パ トカーと警察署や漁船と港、飛行機と管制塔を電波でつ

なぐ無線通信(以下、無線)。巨大な基地局を介す携帯電話と異なり、発信者と受信者が個別にアンテナを設置し、直接電波を通信することで情報をやり取りする。アマチュア無線は、個人が自宅や車で楽しむ無線だ。

携帯電話などの通信は、基地局をつなぐケーブルが断線し使えなくなる可能性もはらむ。災害時には、直接電波を通信する無線が有効な連絡手段になると考え、「生駒市アマチュア無線局非常通信協力会(以下、I.A.E)」を昨年2月に無線仲間19人と立ち上げた。

「災害時、まちの被害状況をいち早く目の当たりにするのは、まちに暮らす私たち。自宅近くの被害状況を発信するのに無線が役立つと思っただけです」

幼 少期から電気機器への興味が強かった。部品を集めては、電気装置を自作。そんな中、当時よく読んでいた科学雑誌でアマチュア無線を知る。無線機を作ってみたくて17歳で資格取得に向けて勉強を開始。高校卒業後すぐに現在の第1級アマチュア無線技士の資格を取り、自宅にアンテナを設置した。それ以降、世界各地の人と自

由に話せる無線に魅了され続けている。

「自分で作った無線機で初めて通信できたときの喜びと感動は、今でも忘れられません」

I. A.Eとして、アマチュア無線の普及や災害時のネットワークを拡大しようとしていたとき、「コロナ」が日本を襲った。イベントでの普及活動などは自粛。できることから始めようと、市内の無線仲間へ地道に声を掛け続け、会員数は37人にまで増えている。

「アマチュア無線に携わる人は年々減り続け、今ではピーク時の3分の1以下。興味を持ってもらえるように、無線の楽しさも伝えていきたいです」

毎週木曜日にメンバー全員で交信し、テストを重ねる。また、市と連携して通信訓練を実施するなど、市内全域の被害状況を市役所や地域に伝える環境を整え、いざというときに備えている。

Pick Up



I.A.Eのホームページ

活動報告や、協力局の分布図などを掲載。無線や同会に興味がある人はホームページから問い合わせてください。

